

経済産業委員会

令和5年9月1日（金）

午前10時14分～午後2時56分

議会第3会議室

【出席委員】 実松尊信委員長、江原新子副委員長、中島妙子委員、江口善己委員、
稲葉嵩広委員、御厨洋行委員、松永幹哉委員、千綿正明委員、
中野茂康委員

【欠席委員】 なし

【委員外議員】 なし

【執行部出席者】

・ 交 通 局 大串交通局長
ほか、関係職員

【案 件】

・ 付託議案について

○実松委員長

おはようございます。ただいまから経済産業委員会を開催します。

初めに、4常任委員会による連合審査会の開催についてお諮りします。第57号議案令和4年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中、歳入全款の審査につきましては、当委員会の付託議案とも、関連がありますので、佐賀市議会会議規則第103条の規定に基づき、連合審査会を開催して審査したいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議ないようですので、第57号議案中、歳入全款の審査については、連合審査会を開催することに決定しました。

次に、決算議案の審査日程についてですが、ただいま決定しました連合審査会を含めまして、タブレット端末に掲載の審査日程案のとおり進めたいと思います。なお、決算審査における執行部の説明については、タブレットに掲載の決算審査の説明要領についてにて周知されておりますので、事前に御確認ください。

また、現地視察についてですが、希望がある場合は、マイクロバスの都合がありますので、早めにお申出ください。

それから、連合審査会時の席次については、タブレットに掲載しております。席次表のとおりですのでよろしく願いいたします。

それでは一旦経済産業委員会を休憩します。この後連合審査会が開催されますので、大会議室へ移動をお願いいたします。

◎午前10時15分～午後2時14分 休憩

○実松委員長

それでは、経済産業委員会を再開いたします。

審査に入ります前に、注意いただきたい点を幾つか申し上げます。

執行部におかれましては、限られた時間で集中的な審議が必要ですので、簡潔な説明を心がけてください。

なお、決算額の数字の読み上げは必要ありません。

また、答弁は役職にかかわらず、質問に回答できる方がされるようお願いいたします。

次に、委員の皆様に申し上げます。

質疑は決算審査ですので、その範囲内でよろしくをお願いいたします。特に市政一般や予算に関する質問にならないようお願いいたします。

また、一度にたくさんの質疑をされますと、答弁が分かりにくくなります。質疑をされる場合は、資料におけるページ数などで質疑項目の該当箇所を示していただき、1回の質問に2問ぐらいに絞っていただければと思います。

また、審査日程上では詳細説明を求める日程を組んでおりませんので、そのことを踏まえた上で審査に臨んでいただきたいと思います。

なお、今回の決算議案審査では、経済産業委員会として意見や提言を行ったほうがよいと判断した場合は取りまとめを行います。意見や提言がない場合は、取りまとめは行いません。過去に附帯決議を行った案件一覧につきましては、決算議案に対する附帯決議案一覧表に掲載されていますので、適宜参照ください。

審査に関連して現地視察の希望がありましたら、マイクロバスの都合もごございますので、お早めに申出ください。

それでは、交通局所管分の審査に入りたいと思います。

第61号議案 令和4年度佐賀市自動車運送事業会計決算について、執行部の説明を求めます。

◎第61号議案 令和4年度佐賀市自動車運送事業会計決算 説明

○実松委員長

執行部からの説明がありました。御質疑がある方は挙手をお願いいたします。

○千綿委員

保険ば掛けよっじゃなかですか。3年位前にえらいぼんと上がりましたよね。事故が多かったせいで。あれは大分落ち着いたと考えていいんですか。現況、昨年度の掛金と、事故を起こして来たお金というのを教えてください。

○小林交通局副局長

まず、保険料の金額ですが、令和2年度の任意保険料の金額が1,387万円、令和3年度は862万4,000円、今回の令和4年度決算では978万7,000円というふうになっております。

それと、事故の状況ですが、令和2年度は28件、令和3年度で24件、令和4年度が20件と

なっております。

○千綿委員

件数だけじゃなくて金額も。例えば、保険料を支払って、保険が下りるじゃないですか。保険料が幾ら入ったかというの。今の説明でいくと、令和2年、令和3年も含めて教えていただければ。

○小林交通局副局長

今言われた事故の支払い額ですけど、まず、令和2年度が1,269万8,000円、令和3年度が984万円、令和4年度が746万7,000円となっております。

それに対して、保険給付金の受取額ですが、令和2年度が1,316万2,000円、令和3年度が1,089万7,000円、令和4年度が873万2,000円となっております。

○千綿委員

過去の附帯決議の中には、過去2年、令和元年ぐらいからなかとですけど、それ以前に経済産業委員会で、局舎を早く建て替えせないかんよねという話をしていましたね。コロナ禍でなかなか進まなかったと思うんですが、昨年度、どういった議論があって、どこら辺まで進んでいるのか、報告をお願いしたいと思います。

○小林交通局副局長

議論の詳細はちょっと控えさせていただきたいんですが、業者のほうとは昨年度10回以上打合せを行っております。3月議会のほうでは提案待ちということで答弁しておりまして、その後、業者のほうから、交通局の敷地というか、面積が幾らぐらい必要であるかといったような問合せ等を受け付けているところです。

○千綿委員

相手方とか別に言わんでよかとですけど、例えば、交通局で手出しがあんまりないという感覚でいいんですかね。どのぐらい、まだ計画全部は把握されていないでしょうけれども、基本的に民間主導でやって建て替えてもらうというような認識でいいのか、それとも、例えば幾らかかなりの交通局の負担があるのか、そこら辺だけでも、話せる範囲で結構なので。

○小林交通局副局長

まだ詳細は決まっていますが、当然この話が進んだときには、民間が建てた建物の中に交通局が入ることになりますので、ランニングコストとして賃借料ということが発生してくるかと思います。

○千綿委員

その場合、例えば土地を貸す金額も入ってくるわけじゃないですか。要するに、土地は貸すわけでしょう。それとも売るんですか。賃借料ということは借りた分だから、例えば、土地を仮に貸すのであれば、向こうも借金するでしょうから抵当権とかつけなきゃいけないので、土地は向こうが買うのかどうか分かりませんが、言える範囲で結構なので、そこ

ら辺ちょっと少し詳しく。

○小林交通局副局长

土地の件につきましても、今協議中なので申し訳ございません。

○実松委員長

ほかに御質疑ありませんか。

○中野委員

千綿委員の最初の質問と関連します。賠償金のことで件数を説明されましたが、1件当たりで一番大きかった金額がどれくらい払われたか、分かったら教えてください。

○小林交通局副局长

令和4年度の車両事故の分で、90万円が一番大きい金額となっております。

○実松委員長

ほかに御質疑ございませんでしょうか。

○松永幹哉委員

12、13ページに、経営指標に関する事項というのを載せてくれているんですけども、13ページに、利用者がバスを1回利用するために、一般会計の他会計がどれだけ負担しているかを示す指標等をですね、ここを少し経営上のほうから、どういうふうに改善がなされて数字が変わってきて、あるいは今後どういうふうに数字がここは変わっていくだろうという、これは指標をずっと追いかけているわけだから分かるんじゃないかと思うんですけども、これについて少し説明いただけますか。例えば、人件費の推移もありますよね。

○交通局職員

他会計負担比率のところよろしいですか。

○松永幹哉委員

今後の見通しも含めて。

○交通局職員

冒頭に局長が申しあげましたように、令和2年2月から新型コロナウイルスの影響を大きく受けまして、他会計の負担比率というのは、ちょっと上がるような傾向がございました。昨年まではそういった傾向が続いておりましたが、今年度は第1四半期で見れば、コロナ前の収入に戻っているような状況になりますので、他会計負担比率につきましては、コロナ前の水準である10%切るぐらいになるのかなとは思っております。続いて、下のほうもよろしいですか。

○松永幹哉委員

キロ当たりの収入も。

○交通局職員

キロ当たり収入ですね。キロ当たり収入につきましても同じような傾向がございまして、令和2年度が底を打ったような形になっておりますが、今、回復基調になっておりますの

で、それにつきましても、平成30年の313円というふうな指標が出ておりますが、それに近づくと、もしくは上回るような見込みでございます。

○松永幹哉委員

もう人件費以外は改善されてきたのかなど。当然、人件費も乗客が多くなることによって、幾らかかかってくるというところの変化なのかなと思うんですけども、この資料を見た限りは、今後の乗員の増加による黒字化というのは見込めるというふうな判断をされているんですか。

○小林交通局副局長

先ほど御説明しましたように、今年度に入りまして、4月から7月まで運賃収入等の実績が出ておりますが、コロナ前の平成元年度と比較しても若干上回っているような状況でございますので、今後も引き続き増収が見込めるのではないかとこのように考えております。

○松永幹哉委員

それと燃料費の問題なんですけれども、今、世間で随分と騒がれています燃料費の高騰、この影響をどう受けるのかと、代替燃料、バイオマス化含む再利用の燃料等の利活用について、今後の方針というか、今までの推移、その辺はどう見ているのか。

○小林交通局副局長

まず燃料につきましては、委員おっしゃるとおり軽油の価格が、四半期ごとに契約しておるんですが、令和4年度の第1四半期、4、5、6月分というのが、単価で116.2円と最高金額でございました。その後、111円、108.9円、109.8円ということで、若干の国の補助等もありまして、落ち着いてきたところではございます。ただ、また今年に入りまして、補助金が段階的に削減されてきた影響もありまして、今年度はまた若干上昇みではあります。また国のほうで9月中旬ぐらいから反映するのではないかとこのように報道されておりますが、補助金の延長というのがありましたので、その分である程度また落ち着くのではないかなというふうに思っております。

もう1点のHiBD高品質バイオディーゼル燃料でございます。こちらにつきましては、令和3年度は7,401リットルを使用しておりましたが、令和4年度は2万3,190リットルということで、前年度と比較しましても、1万5,788リットル使用量が増えております。これは順調に精製ができるようになったため、供給量が大幅に増加しているということで捉えております。

○松永幹哉委員

ということは、代替燃料にしたほうが先々は経済的に効率が上がると。そのための触媒か何かの変更、何かなかったですかね。バス自体の改造というか、何かあったんですよ。違うかな。その辺。

○交通局職員

HiBDに関しましては軽油と全く同じ成分ということで、特別に何かしなければなら

ないというのはございませんが、一応、うちとしては50%で試験しまして、影響がないということを確認しまして、今、地下タンクで直接混合しております。実際は、数%混ぜて使用しているということになりますので、この分の量が増えれば、当然、燃料費については下がってくると思っております。以上です。

○実松委員長

ほかに御質疑ございませんでしょうか。

○江口委員

バスのボディーのコマーシャルですね。行政で、例えばマラソンとかでされる場合と民間とございます。1回のコストですね。

それと、今度は、オーナー側からするとその期間がどういう状況なのかについてお尋ねします。

○小林交通局副局長

まずラッピングバスですね、車体広告のコストですが、最初にラッピングを施す経費がかかります。大型バスの場合は大体90万円から100万円、中型バスで80万円から90万円、小型の場合で五、六十万円の費用がかかります。ラッピングが終わった後の毎月の広告料、交通局のほうに支払っていただく広告料ですが、大型、中型の場合が月10万円、小型の場合が月8万円というふうになっております。

それと、期間は特に定めはなく、年度1年間されるところもあれば、年度途中までというところもありますので、決まった期間というのはありません。

○江口委員

じゃ、1回すると、例えば2年間とか3年間じゃなくて、もうちょっとレンジは短いということですね。

○小林交通局副局長

どちらかという、1回ラッピングされたら、1年間、2年間、長期でされるところが多いかと思えます。

○江口委員

そのオーナーについては待っているところがあるのか、それとも、なかなか難しくてオーダーがないとか、実態はいかがでございますか。

○交通局職員

今現在は空きの台数も5台以上ございますので、待たれている状況ではございません。

○千綿委員

先ほどの関連が1つ。まず、90万円かかって、例えば、月10万円といたら、1年間で120万円じゃなかですか。30万円しかもうからん、仮によ。契約上ね、やっぱり2年とかにせんない、利益の出らんやなかですか。契約するとき2年契約にするとか、そがんと、ほら、結局1年で、大型バス1台90万円かかりました。120万円も頂きました。30万円しか

もうからんということになるじゃないですか。そこはちょっと考えないかとやなかかなと私は思ったのが1点と。まずそれを1つ。

○小林交通局副局長

先ほどラッピングの経費ということで御説明しましたのは、交通局が払うのではなくて、ラッピングするところが払われますので。

○実松委員長

ほかに御質疑ございませんか。

○御厨委員

口頭で言われた、バスロケーションシステムが80万円と言われたのは、これは毎年のランニングコストになるんでしょうか。それとも何か仕様変更とかがあって、今年この数字だったんでしょうか。

○小林交通局副局長

毎年のランニングコストでございます。

○御厨委員

このシステムというのは、パソコン上でのシステムというか、そういうやつですか。それとも、車に載っているんですかね。その辺を少しだけ。

○交通局職員

システムとしましては車載器が載っております、GPSで位置情報を取っております。その位置情報が、どの路線を走っているのかというのをマッチングして遅れ情報を出しております。以上です。

○千綿委員

昨年のバスの運転士の超過時間とかを勘案して、2024年から貨物とかの強化されるじゃないですか。それを考えたときに、昨年度の超過というのが法律に収まるのかどうか。それで、実際、運転士の募集があんまりうまくいっていないような気がするんですけど、そこら辺は、昨年度のバスの運転士の回し方というんだらうけど、そこはどうなんですか。

○小林交通局副局長

今、委員おっしゃったように、来年の4月から改善基準告示ということで、国から示されている運送業の運転士の労働基準というのが見直しされて厳しくなっておりますので、今、交通局としましても、その対応をどういうふうにするかということで検討しているところでございます。

○千綿委員

現状でいくと、昨年の労働時間を当てはめてみると、やっぱりもう少し人員を増やさなきゃいけないとか、そういう部分があるという認識ですか。

○小林交通局副局長

乗務員は今不足しておりますので、1人でも多く採用できるように鋭意努めているとこ

ろでございます。

○実松委員長

ほかに質疑ございますでしょうか。

○稲葉委員

バスセンターがリニューアルされて、デジタルサイネージだったり、先ほどおっしゃっていた、バスが今どこにあるのかというGPSのシステム、ああいったものを導入されて、今回の決算に与えた影響というのは、生産性が上がったのかどうかですとか、そういったところから御意見いただけますでしょうか。

○小林交通局副局長

直接の影響というのは把握できておりませんが、昨年10月のバスセンターのリニューアルというのが、1つは、今まで事業者別の乗り場だったものを行き先方面別の乗り場に変えたということで、その点に関しては利用者の方が利用しやすくなったのではないかとこのように考えているところでございます。

○実松委員長

ほかに御質疑ございますか。

○江原副委員長

全部に関連して幾つか。

まず、バスの広告ですけれども、ボディーのですね。フルラッピング方式のみでしょうか。以前、もうちょっとイニシャルコストの安いのがあって、安価に、間口が低いやつがあったと思うんで、あんまりきれいではなかったんですけど、今もうフルラッピングだけにされているのが1つ。

それから、ちょっと前に戻って保険の件ですけれども、民間損保を御利用になっているのかということと、結局、包括的な台数があるのでフリート的なもので、年間で割引率等が定まって審査、対応するような形式なのかという、その2点教えてください。

○交通局職員

ラッピングにつきましては、委員おっしゃった分が多分7年ぐらい前のお話かと思いません。その分はラッピングではなく、インクジェットのプロット方式でした。その当時、たしか2台のバスに施工いたしまして、当初のお話では、特殊な薬剤を使えばインクジェットの塗料は剥がれるというお話だったんですが、塗装全体を持っていきまして、そういった経緯もありまして、今はラッピングのみでしております。

2点目の御質問である保険につきましては、全国市有物件災害共済会というところに加盟しておりまして、これは本庁のほうも同じ保険になりますが、そこで以前、保険料の比較を民間の損保会社とお話したこともありますが、金額的にはかなり安価であるということが分かりましたので、引き続き共済会のほうでしております。以上です。

○実松委員長

それでは、質疑もないようですので、交通局の職員は退室いただいて結構です。

◎執行部退室

○実松委員長

それでは、本日の決算議案審査に関して、現地視察の御希望はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは次に、委員会から執行部に対して意見、提言を行うべき案件について協議を行いたいと思います。

本日、決算議案審査において、委員会として意見、提言を取りまとめる案件の候補はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

なしでよろしいですか。案件なしということですので、第61号議案については、委員会として附帯決議を行わないということにしたいと思いますが、よろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

それでは、そのように決定します。

次に、この件に関しての本会議での委員長報告についてですが、本来であれば、9月22日金曜日の採決の後に協議を行うものですが、現時点で委員の皆様から報告を行うべき案件について意見はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

あとは正副委員長に一任という形でよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

それでは、次回の委員会の日程についてですが、9月4日月曜日の午前10時を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

以上で本日の経済産業委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

令和 年 月 日

経済産業委員長 実 松 尊 信